

平成22年度 文部科学省委託事業

コミュニティスクール（学校運営協議会制度）推進校



ごあいさつ

地域の皆様や保護者・教職員の皆様に、学校運営協議会の活動に温かいご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。また、ご指導、ご支援くださいました関係機関の皆様に心から感謝申し上げます。

平成22年度の活動のまとめと致しまして本誌を発行させていただきました。なお、合わせて開校一年目の瀬谷さくら小学校の運営全般についてご理解いただきたいとの想いで「教育目標」や「中期経営方針」を、さらに、児童の皆さんの元気に、そして、逞しく歴史をつくる様々な取組についても知っていただきたいと考え掲載させていただきました。

昨年5月25日に開催されました第1回運営協議会におきまして、委嘱状をいただき、さらに、協議会の役割についてお話を伺いまして、任務の重大さに身の引き締まる思いがいたしました。

副会長の馬場勝己委員や野口周作委員をはじめ委員の皆様がご担当いただきましたそれぞれの役割をしっかりと果たしてくださいました。加えて古川校長先生の適切なお助言・ご協力をいただき、一年間活動を行うことが出来たと感謝しております。

今年度の大きな課題でありました、校歌の作成におきましては久保研二氏・落合さとこ氏が、校章の作成におきましては馬場仁太郎氏・柳沢たつ子氏が大変お忙しいなか情熱を注がれ献身的に作成してくださいました。児童の皆さんや保護者・先生・地域の皆様のお気持ちを充分くみ取っていただいたものとなっております。

皆様に誇れる「校歌」「校章」を作成してくださいましたことに心から感謝申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

自分が大すき 友だちが大すき このまちが大すき さくらの子 の健やかな成長と瀬谷さくら小学校が確かな歴史を築きながらご発展されます事をご祈念申し上げあいさつとさせていただきます。

瀬谷さくら小学校学校運営協議会会長
網代 宗四郎



横浜市立 瀬谷さくら小学校

〒246-0035

横浜市瀬谷区下瀬谷3-58-1

TEL 045(3)0803
FAX 045(3)0864

学校運営協議会とは・・・

「学校運営協議会」は教育委員会の下部組織として、保護者、地域住民、学識経験者、学校代表などで構成され、法律に基づいた一定の権限と責任をもって、学校運営に関与する役割を担っています。地域のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現に取り組むことを目的としています。

「地方の教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成 16 年 9 月 9 日から施行されました。この法律により、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置が可能になりました。この「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール^{注1}」と呼んでいます。瀬谷さくら小学校もこの「コミュニティ・スクール」に指定されました。全国では幼稚園 22 園、

小学校 334 校、中学校 114 校、高等学校 3 校、特別支援学校 5 校の合計 478 校が、コミュニティ・スクールに指定されています。

瀬谷さくら小学校の学校運営協議会の委員には、瀬谷さくら小学校区の各自治会・町内会の代表、PTA の代表が入っていますので、学校運営に関する皆さんの意見や要望を是非お寄せください。



注1) 学校開放の一環として市民のクラブ活動支援や市民図書室を運営しているコミスクと同じ呼称ですが、学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールはまったく別のものです。

教育目標

「自分大すぎ 友だち大すぎ このまち大すぎ さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

⇒基礎基本を身につけるために、学びの集団や空間の多様化を進め、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子を育てます。

⇒規範意識を育て、善悪の判断ができる子、自分を大切に・他を思いやれる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

⇒望ましい生活習慣を身につけ、進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

⇒地域の方々とのふれあいを通して、地域を愛する子どもを育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子に育てます。

情報教育などを中心に、様々な今日的課題に対応できる力を育てます。



校門前、挨拶運動をしています。上手にしっかり挨拶をした子は「挨拶上手」ということで表彰されます。

中期学校経営方針

(平成 22 年度～26 年度)

人間形成 (知・徳・体・公・開で示す子どもの実現)

- ・ 読む・聞く・話す・書く・計算力を高める指導を充実させます。
- ・ 読書力向上を図る取り組みを充実します。
- ・ 道徳教育の充実を図ります。
- ・ 自己有用感をもたせ、規範意識や挨拶を大切にする指導の充実を図ります。
- ・ 人権尊重の精神を基盤とする教育を推進します。
- ・ 体力向上に関心をもたせる指導をします。
- ・ コミュニケーションツールを使っての指導の充実を図ります。



道徳授業研究、充実した取り組みになりました。

学力形成

- ・ 瀬谷さくら小学校計算検定、漢字検定を実施します。
(校内漢字・計算検定試験に力をいれ、子どもたちが自分のペースで意欲的に取り組み、基礎的な力が身につけられるようにします。)
- ・ 自分の考えをもち、筋道を立てて友だちに説明できるようにします。
- ・ 学年毎に、学力向上プラン、体力向上プラン、徳育推進プランを策定し、実践します。特に、視写、計算力、語り合いを重点化します。徳育推進プランでは「あいさつ」に力点を置き、しっかり挨拶の出来る子を目ざします。

第 1 回学校運営協議会開催

5 月 25 日、横浜市教育委員会西部学校教育事務所から宮沢・青木指導主事をオブザーバーに迎えて、横浜市立瀬谷さくら小学校の第 1 回学校運営協議会が開催されました。古川校長先生より、委員の紹介、設立テーマ、設立目的、活動計画案、教育目標、経営計画などの説明がありました。



1. 設立テーマ

“共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」“

～みんなの力で守り育てよう瀬谷さくら小学校・さくらの子～

2. 設立目的

下瀬谷小学校の児童数増加に伴い、昭和 55 年 9 月に日向山小学校が独立し、30 数年の間それぞれの学校が独自の学校文化を築き上げてきました。しかし、両校の児童数減少を期に、再編統合の計画がもち上がりました。約 2 年間の準備・検討委員会の話し合いを経て、平成 22 年 4 月に「瀬谷さくら小学校」が誕生しました。

教育委員会に提出した「再編統合の意見書」に、検討委員会の要望として、「学校、家庭、地域が共に児童の成長を見つめていく学校運営をして欲しい」との意見が盛り込まれました。また、それぞれの文化を作り上げた二つの学校が一つになることは、児童、保護者、地域にとって多くの課題が想定されます。新校に係わるそれぞれの立場の皆さんの協力を得て、学校づくりを推進していくことが関係者の願いでもあります。

瀬谷さくら小学校創立を期に、子どもたちの健やかな成長を願い、新しい学校をみんなで創り、育てていくことを目的として、学校運営協議会を立ち上げることになりました。

3. 委員の紹介

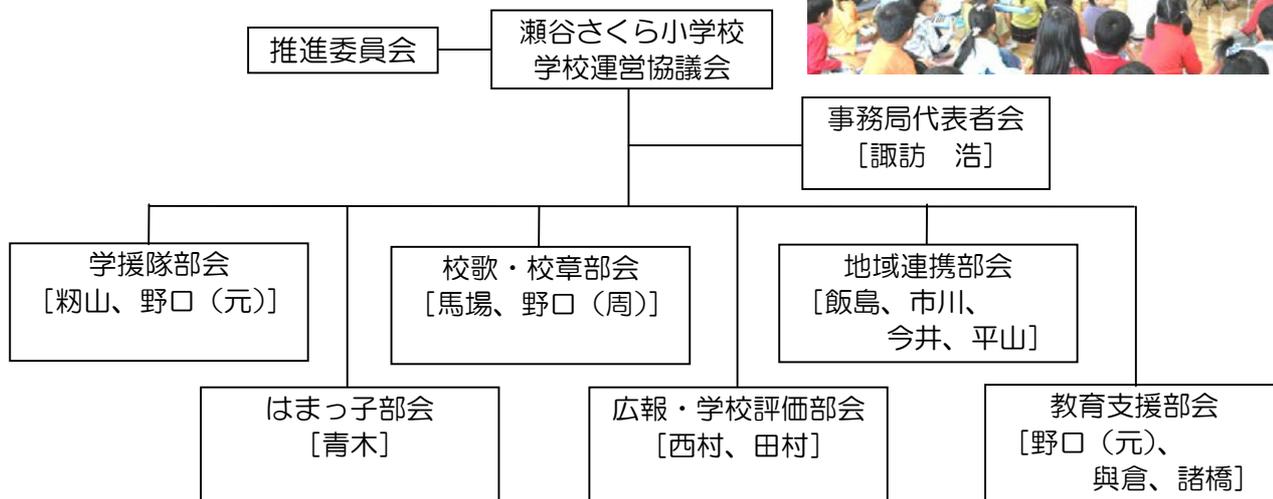
平成 22 年度の委員として、地域代表 9 名、保護者代表 4 名、学識経験者 1 名、学校代表 1 名が紹介され、それぞれに委嘱状が手渡されました。続いて、役員選出が行われ、会長に網代宗四郎委員、副会長に馬場勝己委員と野口周作委員、書記に野口元委員、会計に西村快晴委員、会計監査に飯島通博委員と今井保美委員がそれぞれ選出されました。

4. 組織と活動内容

22年度は、学校運営協議会の中に①学援隊部会、②はまっ子部会、③校歌・校章部会、④広報・学校評価部会、⑤地域連携部会、⑥教育支援部会の6つの部会を設け、それぞれ活動していくことになりました。また、学校運営協議会の事務局を瀬谷さくら小学校におき、地域連携コーディネーターである諏訪先生が担当されることになりました。



(1) 組織と担当委員



(2) 各部会の活動内容

1) 学援隊部会

瀬谷さくら小学校がコミュニティ・スクールに指定されたことを期に、学援隊は学校運営協議会の1部会として活動することになりました。

2) はまっ子部会

学援隊と同様、はまっ子ふれあいスクールも学校運営協議会の1部会に組み込まれました。活動内容は従来と同じで、放課後および日曜、祝祭日、年末年始を除く学校休業日に、児童の自主的で自由な遊びの見守りや体験活動などを行います。

3) 校歌・校章部会

新しく開校したばかりの瀬谷さくら小学校には未だ校歌、校章がありません。その校歌、校章を作るために、校歌に盛り込みたいイメージや単語、校章のイメージなどの案を作成し、それを作詞作曲やデザインの専門家に提示して、校歌、校章を作成する役割を担っています。

4) 広報・学校評価部会

学校運営協議会の活動を中心にした広報活動（具体的には広報誌の編集）、および、学校運営に関する評価項目の立案・評価などを行います。

5) 地域連携部会

さくら小地域夏まつりや秋季防災訓練などに協力、支援すると共に、学校・家庭・地域の交流、連携をより一層深めるためのイベントや施策を立案します。

下瀬谷地区担当・日向山地区担当、それぞれ2名ずつで活動をしています。

6) 教育支援部会

体力向上支援、学力向上支援、徳育推進、クラブ活動支援などのボランティア活動を考えていますが、支援とはいえ教育現場に素人が入ることには様々な考え方があり、何ができるか、今後、学校運営協議会の中で協議していくことになりました。



統合後の児童の様子について



開校式

平成22年4月1日、横浜市立瀬谷さくら小学校が開校しました。下瀬谷小学校と日向山小学校が統合され、児童数459名、17学級の新しい「瀬谷さくら小学校」が誕生しました。

当日は開校式典が行われ、横浜市教育委員会中里教育委員から瀬谷さくら小学校長に、開校宣言書が手渡されました。



開校宣言

開校式に続いて、実行委員会主催による開校記念式典・祝賀会が、ご来賓・地域関係者・保護者・学校関係者など多数の参加のもと開催されました。みんなで瀬谷さくら小学校の開校を祝いました。アトラクションとして、下瀬谷中学校吹奏楽部の演奏やひなた山地区の如月太鼓の皆さんによる勇壮な太鼓演奏が行われ、祝賀会に花を添えました。

アンケート実施

4月と7月に学校が実施した児童と保護者を対象にしたアンケート結果をご紹介します。

アンケート結果や日頃学校での児童の様子から、学校では、「子どもたちは、統合による新しい環境や友だちにあまり抵抗無く、なじんでいる様子である」と分析しています。これは、学校関係者の周到な準備のおかげだと思います。子どもたちの順応性の高さにも感心させられます。4月と7月の結果の違いについては、「開校や新学期を向かって、希望に胸を膨らませていた4月に比べて、7月にはやや落ち着いて、普段のリズムを取り戻したのではないか」ということです。また、「保護者は学習意欲に対してもどかしさを感じているのではないか」とも分析しており、今後の課題と考えています。

それにしても90%以上の児童が、「勉強をがんばろう」、「よい学校にしたい」と考えていることは頼もしい限りです。私たちも子どもたちの期待にこたえるべく努力していきたいと思えます。

	アンケート項目	児童		保護者	
		4月	7月	4月	7月
1	学校は楽しい	93	88	/	/
	楽しく学校へ通っている	/	/	97	96
2	友達がたくさんできそうだ	93	95	/	/
	新しい友達ができよう	/	/	92	95
3	勉強をがんばろうと思う	91	89	/	/
	学習への意欲が感じられる	/	/	87	81
4	良い学校にしたいと思う	93	90	/	/
5	気持ちは安定しているようだ	/	/	92	86

※数値は「そう思う」「どちらかというと思う」を合計した割合(%)



開校式受付
両校の保護者、地域の皆さんがすでに和気藹々で仕事をしてくださいました。

学援隊の皆さんを紹介しました。

瀬谷さくら小学校学援隊発足

6月8日、「瀬谷さくら小学校学援隊」の設立総会が開催され、隊長には下瀬谷自治会の粕山金久会長が選ばれました。



学援隊は、「自治会・町内会、地区、PTAの各個別組織により構成され、学園隊の規約を承認、合意してボランティアとして参加する」ことになっています。

その目的は、「瀬谷さくら小学校における児童の安全・安心の確保を図るため、学校安全管理にかかわる活動を行う」ことにあります。具体的には、①校内とその周辺、および登下校時の通学路における児童の安全見守り活動、②その他目的を達成するために必要な活動として、青パトによる通学区の安全パトロール、活動資金を捻出するためのアルミ缶回収などを行っています。



交差点での活動風景

人の輪、地域の結束

隊長の靱山さんは「子どもたちが大人になった時に、その感謝の気持ちを基に素晴らしい社会をつくるだろう」と期待しています。また、他の隊員も「おはよう・こんにちは・ありがとうと言われるのがやりがいである」と話し、地域からも「有難う」と言われて嬉しい。「子どもの命を守る仕事だと考え参加している」と言います。学校の職員から「感謝、感謝、有難う」と言われ、PTAからも学援隊の活動は子どもの人としての成長に繋がると言われます。

子どもたちの安全・安心を守る為に活動することは、子どもとの繋がりが出来、地域の安全・安心となり、牽いては地域の結束を作り、融和となり、人の輪を作っていきます。こんな活動が地域から社会へと広がる事を願いつつ、老いの日々を過ごせることが幸せです。

教育支援部会報告

昨年末には先生達が「放課後の算数勉強会」を開催して下さいました。終了後は整然と地域別に子どもを分けて、下校させている姿に安心すると共に感謝しました。

この放課後の補習は短期間の試みでしたが、成功裏にスタートできたこと、そして他校では地域住民が中心となり、定期的に行なって成功していることから、本校でも出来ない事では無いはずと考えています。課題を整理して、子どもたちの学力向上のために、支援の方法を考えていきます。

正門前の活動風景



瀬谷さくら小学校区交流会発足

6月15日、「瀬谷さくら小学校区交流会」の発足総会が開催されました。交流会は、下瀬谷小学校区交流会の初志を引き継ぎ、「地域をになう人間性豊かな児童の育成を図る」ことを目的として、ひなた山地区を加えた有志により設立準備を進めてきたものです。会員には、自治会・町内会、諸団体、PTA、学校教職員など137名の方々が登録されました。

交流会の主な事業は、①さくら小地域夏まつりの開催、②地域、学校、PTAとの親睦交流、③PTAとの連携、協力、④学校行事への参加、協力などです。

総会では、靱山金久下瀬谷自治会会長が会長に選出され、ほかに、副会長6名、会計2名、会計監事2名、顧問2名が選出されました。また、事務局を設置することが決まり、4名が実務を担当することになりました。

第2回学校運営協議会開催

7月5日、横浜市立瀬谷さくら小学校の第2回学校運営協議会が開催されました。

1. 校歌・校章部会提案

校歌・校章に関する決定プロセスが提案されました。それによると、校歌について

学校運営協議会

みんなでより良い学校にしていこうと真剣な話し合いがもたれました。



は、校歌のイメージや校歌の歌詞の一部や単語を、校章についてはそのデザインイメージを公募することになりました。ともに7月中に一般公募を行い、学校運営協議会で案を絞り込み、9月には専門家に発注。2月の体育館改装お披露目に合わせて、校歌・校章・校旗のお披露目を行うことに決まりました。

2 教育支援部会提案

学校長から提案された「児童支援ボランティア募集」に関して議論を行いました。その中で、教科学習支援については、家庭やパソコン学習、地域学習などの補助的支援は可能かもしれないが、国語や算数の授業支援は難しいのではないかという意見が多く出されました。



「はまっ子部会」

瀬谷さくら小学校誕生と同時に「はまっ子の運営部会」が「瀬谷さくら小学校学校運営協議会」の一部会として誕生しました。

はまっ子部会では、学校施設を利用し遊びを通じた異年齢間の交流を促進し子どもたちの創造性や自主性、社会性を養い、児童の健全育成を目的として実施しており、子どもたちにとって安全で快適な放課後の居場所として活動しています。

毎回行われる運営協議会々議では、学校を中心とし各部会より毎回活発な意見が交わされ、はまっ子に対しても様々な助言をいただき地域の豊富な経験を持たれる人材の紹介、ウクレレコンサートや陶芸教室など幅広い活動となりました



さくら小地域夏祭り開催

統合により、祭りがより盛大になりました。



7月17、18の両日、瀬谷さくら小学校区交流会主催による「さくら小地域夏まつり」が瀬谷さくら小学校校庭で盛大に開催されました。

会場には、瀬谷さくら小学校区の各自治会・町内会、PTA、PTA・OB、教職員などによる模擬店がずらりとテントを連ね、大勢の人たちが買い物やゲームを楽しみました。今年、初登場したひなた山地区の和風スイーツは、大変好評だったようです。



夜は盆踊り大会が行われ、下瀬谷自治会「太鼓の会」による和太鼓演奏に合わせて、北新自治会の「女性の会」や下瀬谷自治会、南瀬谷ニュータウン自治会の踊り愛好会の皆さんのリードで大きな踊りの輪ができました。今年からひなた山地区の人たちも加わり大盛況でした。

地域・PTA職員、檣の上で輪になって、楽しく踊ります。

秋季防災訓練実施

防災服に身を包み、整列する職員



8月28日、炎天下の校庭で、瀬谷さくら小学校地域防災拠点主催の「秋季防災訓練」が、大勢の地域住民や瀬谷さくら小学校全学年の児童、PTA、全教職員が参加して行われました。

訓練は、消防隊員による放水訓練デモで始まり、簡易担架作成・搬送訓練、簡易トイレ作成訓練、水消火器取り扱い訓練、煙体験、バケツリレー訓練などが行われ、地域住民に混じて子どもたちや、学校教職員も訓練に取り組みました。

毛布で担架をつくり、けが人を搬送する訓練



子どもたちの「水消火器」取扱訓練
「火事だ・火事だ」と大声で叫んでから水消火器を操作します。



毛布を使って簡易担架を作り、けが人を搬送する訓練では、こんな簡単な仕掛けで重い大人でも搬送できることに皆感心していました。また、煙体験では、背をかがめて避難することにより、煙を吸わないようにすることができると実感することができました。幸いにも私たちが住んでいる地域では、このところ大きな災害が無く、災害に対する備えも

おろそかになりがちですが、世界では大地震や大水害が頻発し、大森林火災も発生しました。

防災訓練を機会に災害に対する考えや備えを新たにしておくことが大切なことだと思います。また子どもたちにとっては、訓練を通して消防隊員や地域住民とふれあい、協働したことは貴重な体験になったことと思います。

第3回学校運営協議会開催

8月10日、瀬谷さくら小学校の第3回学校運営協議会が開催されました。

1. 校歌・校章部会報告

校歌、校章のイメージあるいは歌詞の一部や単語を、児童、保護者、地域、学校教職員の皆さんに広く公募しました。その結果、校歌に関しては18名の方々から60余件、校章に関しては9件の応募がありました。やはり「さくら」の花びらを配した作品が多く寄せられています。その中に何とか「瀬谷」を表現しようと苦心されているようです。中には、横浜市のマークや瀬谷区のシンボルマークを取り入れた作品もありました。



校歌について

校歌のイメージとしては「明るく爽やかで元気な曲」、歌詞の一部や単語としては「さくら咲く、緑あふれる、未来、希望、勇気、手を取り合って」といった、いい環境の中で元気で仲良く未来へ羽ばたいて欲しいと願う文言が多く寄せられています。



落合さとこさん、久保研二さんと、網代会長・古川校長先生が校歌について話し合い。

校歌の制作については、下瀬谷小学校出身のシンガーソングライターである落合さとこさんと、落合さんが音楽の師匠と仰ぐ久保研二さんに依頼することになりました。落合さんは、瀬谷さくら小学校の開校記念コンサー

トにも出演されていますので、なじみの方も多いのではないかと思います。

古川校長先生と網代会長を交えた打合せが2回ほど行われ、募集したイメージや単語が手渡されました。お二人は大変熱心で、歌のイメージを更に高めるためにとって、学校内や学校の周辺を散策されたり、歌われるのと同じ環境の中で制作するのが一番と、学校の音楽室で作曲に取り組みたりされているそうです。きっとすばらしい校歌が出来上がることと思います。

第4回学校運営協議会開催

校章のデザインと校歌の歌詞を決定

10月13日、第4回学校運営協議会が開催され、校章のデザインと校歌の歌詞を決定しました。校歌の曲に関しては、一部分、子どもたちがより歌いやすいように修正できないか、検討していただくことになりました。

第5回学校運営協議会開催

開校記念日を決定

12月7日、第5回学校運営協議会が開催されました。学校側からいくつかの候補日が提示され、討議の結果、「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会で、校名を「瀬谷さくら小学校」とすることに決定した「11月4日」を開校記念日とすることに決定しました。

「校歌・校章」完成

今年の主な課題のひとつであった「校歌・校章」が完成したことが報告されました。子どもたちが歌う校歌を聴き、色付けされた校章を見て、双方とも瀬谷さくら小学校の教育目標をモチーフにしたすばらしい仕上がりになったと、委員一同自画自賛しています。

完成した校章



中学校区について

中学校区が、旧下瀬谷小学校区は下瀬谷中学校、旧日向山小学校区は南瀬谷中学校となっていることから、進学期を前にした保護者や子どもたちに、やや戸惑いが見られたようです。統合後は初めての経験でもあり、関係者に、より繊細な心配りと配慮を求めていることになりました。

河津桜を植える会に集まった4年生の子どもたち

河津桜を植樹



1月13日、4年生が企画した「河津桜を植える会」が開催され、保護者や地域住民も参加して子どもたちと一緒に2本の河津桜を植樹しました。

地域の人の指導で植樹



苗は10年ものということで、すでにつぼみがついており、開花を楽しみにする子どもの姿がありました。

今後末永く子どもたちの成長と瀬谷さくら小学校の発展を見守ってくれることと思います。

第6回学校運営協議会

2月7日、瀬谷さくら小学校の第6回学校運営協議会が開催されました。この日は今年度一年間の学校の取組について振り返りを行いました。

学校評価について

文部科学省と横浜市のガイドラインをもとに、学校評価の目的、規定、実施手法などについて説明しました。

その後、学校側から「自己評価」の経緯説明と結果報告があり「学校評価報告書」(案)に対して、学校運営協議会としての意見を早急に集約することになりました。

限りない夢に向かって

副会長 馬場勝己

下瀬谷小学校と日向山小学校の再編統合により、平成22年4月1日瀬谷さくら小学校が誕生しました。

ふたつのそれぞれ歴史ある学校が一つになるということは、当然のことながら大きな変化をきたします。児童はもとより、保護者や地域の人々にとって様々な問題が生じることが想定されました。それを克服するため、子どもたちの健やかな成長を願って、新しい学校をそれぞれの立場の皆さんの力で創り、育てていくことを目的として、学校運営協議会が設立されました。

網代会長・古川校長をはじめ、委員の皆さんが『「共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」』の設立テーマに向かって真摯に取り組む姿勢に、無限の力を感じたのは私一人ではなかったと思います。その一員に加わったことに感謝いたします。

校歌・校章も決まり、新しい歴史の始まりです。限りない夢に向かって、地域と共に育む学校づくりに今後も尽力したいと思います。

地域交流室



学習センター（PC教室）



新しく出来上がった地域交流室やパソコン教室。体育館も新しくなりました。

皆様方には感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。



新しくいただいた「スポーツ旗」体育大会開会式で授与されました。

【編集後記】

それぞれの伝統と文化を築いてきた下瀬谷小学校と日向山小学校。統合する過程では、様々な思いが関係者の胸に去来し紆余曲折もありました。しかし、統合後に皆さんに話を聞くと、統合してよかったと口をそろえて話しています。心配された混乱は無く、子どもたちは友だちが増え、保護者や地域住民は交流の範囲が広がったことを喜んでいます。この間の教職員やPTAの方々の努力と心配りは並大抵のことではなかったと思います。

統合と同時に学校運営協議会が設置されました。委員皆初めての経験でしたが、手探りながら、6回の会合を通して活発な議論が行われたことは大変有意義なことだったと思います。

学校の活動については「学校だより」で、毎月、詳しく報告されています。今後、私達は学校運営協議会の様子をいち早くお知らせするとともに、学校運営協議会の設置目的でもある第三者的視点から学校の様子もお伝えしていきたいと考えています。

平成22年度
学校運営協議会だより

平成23年2月15日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会

発行責任者
会長 網代宗四郎
編集
広報・学校評価部会